

ご議論いただきたい論点

1. 電力先物市場の意義・役割

- ①日本の電力を対象とした先物市場は必要か。電力先物市場を創設する場合に、電力先物取引に期待する機能は何か。
- ②電力の公正な取引価格としては既に電力卸取引所の取引価格が存在するが、電力先物市場で形成される価格はどのような役割を果たすのか。
- ③日本の電力を対象とした先物市場を創設する場合に、日本の取引所に上場することが好ましいか。それとも既に事業者によっては諸外国の取引所等で燃料先物取引が行われている中、電力についても当該諸外国の取引所に上場する方が好ましいか。それぞれのメリット・デメリットは何か。
- ④既に諸外国に存在する燃料先物市場（LNG、石炭）を活用している事業者もいる状況において、日本に燃料先物市場を創設する必要はあるか。創設する場合のメリット・デメリットは何か。
- ⑤燃料先物と電力先物のそれぞれで価格を固定することで事業者の収益を確定する機能があるのではないか。

2. 電力先物市場の制度設計

- ①取引参加者は当業者に限定すべきか。流動性を確保するために当業者以外（海外ユーティリティ、トレーディング会社等を想定）の様々なプレイヤーも参加させるべきか。
- ②電力先物取引ではどのような不公正取引が行われることが想定されて、どのような対応を行っていくべきか。
- ③電力取引は現物取引と先物取引が密接な関係にあると思われるが、市場監視に際して、当局と取引所がどのような連携・役割分担をしていくべきか。
- ④クリアリングについてはどう考えるか。清算参加者（クリアリングメンバー）や証拠金の考え方など、他の商品とは異なる電力先物独自の要件を考えるべきか。
- ⑤電力先物取引を行う上で、税会計や社内体制の整備など特に課題となるような点は何か。
- ⑥先物取引量の将来見込み（規模感と時間軸）をどのように考えるか。

3. OTC取引との関係

電力先物のOTC取引と電力先物市場をどのように使い分けるか。両者の役割分担についてどのように考えるか。OTC取引についてもクリアリングを付けるべきか。それぞれのメリット・デメリットは何か。